



♪ジョイコン NEWS ♪

第7号 2014年8月18日

暑い日が続いておりますが、いかがお過ごしでしょうか。

高校野球も連日熱戦が続いています。地元やふるさとのチームをテレビ観戦しながら応援されていることでしょうか。

特定の応援チームがなくても高校野球には魅力がありますが、甲子園通によれば、ベスト8が対戦する日（準々決勝）がお薦めの観戦日のようです。

それでは、「♪ジョイコン NEWS ♪」（第7号）をお届け致します。

【もくじ】

- 【1】 次回コンサートのご案内
 - ◆ 第11回コンサート
- 【2】 今後の予定（先取り情報）
 - ◆ 第12回コンサート
 - ◆ 第13回コンサート
- 【3】 フルートはキラキラなのに木管楽器？
- 【4】 コンサートのアンケートから

【1】 次回コンサートのご案内

■■ 第11回コンサート ■■

◇ 2014年9月21日（日曜日）14:00 開演（13:30 受付開始）

◇ 出演：森岡有裕子（フルート）、森岡聡（ヴァイオリン）

◇ プログラム（予定）

- ・ テレマン：フルートとヴァイオリンによる二重奏曲とファンタジー
- ・ クーラン：二重奏 ト長調
- ・ バルトーク：二重奏
- ・ モリック：デュオコンチェルト
- ・ フェルマー：フルートの為の3つの小品（フルート独奏） ほか

第11回ジョイフルコンサートは『ハーモニーを楽しむ～フルートとヴァイオリンの華麗なる共演～』と題して、お届けします。

ご姉弟によるフルートとヴァイオリンの演奏です。前半がバロック音楽、後半は近代音楽中心のプログラムです。

今回はその中から2人の作曲家に注目してみたいと思います。

★ゲオルク・フィリップ・テレマン

ゲオルク・フィリップ・テレマンはバッハ、ヘンデルと並ぶバロック時代の3大巨匠の一人です。現在ではバッハ、ヘンデルの方が有名ですが、当時はテレマンの方がずっと人気がありました。

幼い頃から優秀でラテン語、ギリシャ語の成績もよく、教会音楽に触れてはいましたが、ほとんど独学で作曲を学んだそうです。
10歳でオペラを作曲する神童だったとか。

でも母の教えに従い、ライプツィヒ大学で法学を専攻します。その頃ヘンデルと知り合いずっと手紙のやり取りを続けたそうです。大学時代に編成した楽団コレギウム・ムジクムの評判により音楽の道に進みます。

宮廷楽長としていくつかの宮廷礼拝楽団を組織し、そこでヨーロッパ各国の舞曲を研究し、取り入れていきました。86歳で死ぬまで作曲を続け、最も多くの曲を作った作曲家としてギネスブックに認定されているそうです。

商才にもたけていて、作品を予約販売し、音楽雑誌に新作楽譜を掲載して、継続して買ってもらうようにするというやり方で成功しました。今は珍しくありませんが、当時は斬新なアイデアだったということでしょうね。難解なバッハの音楽よりわかりやすい作風ということで多くの人に受け入れられていたそうです。

しかし結婚には恵まれませんでした。最初の結婚は妻が結婚して数年で亡くなってしまいます。その後再婚しますが、この妻は愛人がいたとの噂で更にギャンブルに熱中して莫大な借金を作ってしまった。ハンブルグの商人達のおかげでなんとか助かったそうです。

こういう話はいつの時代にもあるのでしょうか？
それで演奏を聴くと少し印象が変わるかもしれません。

★ベラ・バルトーク

バルトークの音楽はちょっと不思議だなと思います。不協和音が続いたり、アクセントが不思議だったり、リズムがまた不思議だったり。

何年か前にピアノの発表会でいわゆるモーツァルト、ベートーヴェン、シューベルト、ショパン、ドビュッシー等が続いている中に一人バルトークを弾いた小学生がいました。聴き心地のいい曲が続いている中に、異色のバルトークが入ってくるととても印象的でした。リズムが強烈に感じられた印象があります。

何故でしょうか？

ハンガリーという国はずっと他国に支配されてきて、バルトークが自国の音楽を作りたいという強い思いがあったのではないか、あるいはリヒャルト・シュトラウスの「ツアラトウストラはかく語りき」に今までにない音楽という強烈な衝撃を受けて、ハンガリー国内の民族主義運動と重なり民謡研究に目覚めていったのではないか。また当時はオーストリア＝ハプスブルグ家統治の名残でハンガリー語ではなくドイツ語を話さないといけなかったという話もあります。想像は尽きません。

バルトークはハンガリー国内だけではなく、アルジェリアも訪れ民謡を集めたそうです。ヒットラーの台頭に伴いファシズムに耐えられなくなり、アメリカに移住し、ハンガリーに戻ることもなくアメリカで亡くなりました。

ブタペストの音楽院では作曲を学ぶ際、ワーグナーやブラームスをプログラムとして学んだそうですが、そうではなくハンガリー独自の音楽を確立したいと思ったのは音楽の世界まで他国に支配されたくなかったのですね。

リストの「ハンガリー狂詩曲」という曲がありますが、リスト自身は実際のハンガリーの各地に伝わる音楽を元に作ったわけではなく、ハンガリーっぽい創作ということになります。

リストは自分でこの曲を弾きながら、「これは違う」と言ったのだそうです。「違う。」というのはどういう意味なのか、本当か嘘かわかりませんが、リストがやりたかったことをバルトークが引き継いだと言われています。

そういうことを思うと本当はもっとずっと深いものがあるのかもしれない。

音楽一家のご姉弟の息のぴったり合った演奏をどうぞお楽しみ下さい。(A.N.)

■ 予約申し込みはこちら

ホームページ：<http://www.ohkurayama-joycon.com/>

予約専用電話：080-8424-5108

※既に特別予約（会場予約）をされた方、ホームページで予約済みの方は
あらためて申し込みをする必要はありません。

【2】今後の予定（先取り情報）～「予約申し込み」は受付けておりません

■■ 第12回コンサート ■■

◇2014年11月16日（日曜日）14:00開演（13:30受付開始）

◇出演：長尾春花（ヴァイオリン）、實川風（ピアノ）

☆名だたるコンクールで多くの受賞歴を誇るお二人。
人気上昇中の実力派若手音楽家の登場です。

☆ヴァイオリンの名曲満載です。

詳しくは第11回コンサート後のチラシ、ホームページをご覧ください。

■■ 第13回コンサート ■■

◇2015年1月18日（日曜日）14:00開演（13:30受付開始）

◇出演：鎌田美穂子（箏）

☆ジョイコン初の邦楽です。

新春にふさわしい箏の音をどうぞお楽しみに。

【3】フルートはキラキラなのに木管楽器？

管楽器は木管楽器と金管楽器に分けられます。

フルート、クラリネット、オーボエ、ファゴット、サクソフォンが
木管楽器で、トランペット、トロンボーン、ホルン、ユーフォニアム、
チューバが金管楽器です。

フルートは材質が洋銀、銀、金、プラチナなど金属製なのにどうして木管
楽器になるのでしょうか？

一般的には「19世紀中頃以前のフルートが木製だったから」と言われて
いますが 実はもうひとつ理由があります。

フルート以外の木管楽器はリードを使い、リードを振動させて音を出します。

フルートはリードを使わないのですが、リードの代わりに空気を使い

管の吹き口に息を入れて空気を振動させて音を出します。それゆえ

エアリード楽器とも呼ばれています。

これに対して金管楽器はリードや空気ではなく「人間の唇」を振動させて
音を出します。

この音を出すしくみの違いも木管楽器と金管楽器を分けるもうひとつの理由
なのです。

バッハやモーツァルトの時代に木製だったフルートが、19世紀中頃に
金属製になり長い月日が流れましたが、また最近になって木の味わいが
再評価されるようになり木製フルートを愛用する奏者が増えてきました。
それは現代の優れた加工技術によって木製の特徴を残しながら金属製と
同じ性能を得られるようになったことがあるようです。(のん)

【4】コンサートのアンケートから

★前回（第10回）ジョイフルコンサート
菊地裕介による『どっぷりショパンに浸る午後』は如何でしたか？

エチュード全曲演奏という大変意欲的なプログラムでした。
アンケートの自由記入欄（ご感想など）には、演奏内容に対するコメントが
数多く寄せられました。厳しいご指摘とともに暖かい応援メッセージを添え
たアンケートもいくつかありました。有難うございます。
※「アンケートまとめ」は演奏者の要望があれば、お知らせしています。
もちろん個人情報はありません。

★過去10回分の「アンケート」を集計しています。
集計結果について、このコーナーで簡単にご紹介してまいります。
（回収総数：554枚、なお未記入もあるため合計は100%になりません）

今回はお客様の属性（性別、年齢、お住まい）についての結果です。
<性別>男性38%、女性59%
<年齢>10代以下1%、20代3%、30代10%、40代10%、
50代15%、60代36%、70代以上22%
<お住まい>横浜市港北区41%、横浜市（港北区以外）27%、
県内（横浜市以外）12%、東京都14%、その他3%

毎回平均で約55名の方がご回答されていること、地元港北区の方が
4割以上（横浜市内では7割弱）を占めることが分かりました。
地元の方々に支えられていることを改めて実感する数字です。

【編集後記】

夏の風物詩といえば花火ですね。

日本の花火は世界一精巧で華麗だといわれています。“球形に開く”、“途中で
色が変わる”、“二重三重の同心球を描く”などは日本独自の技術だとか。

そして、身近で頻繁に花火大会が開催されるのも日本だけのようです。
日が沈んだ後も、蒸し暑さは続きます。
お出かけの際は、熱中症対策を忘れずにお楽しみください。

※このメールマガジンは、
大倉山ジョイフルコンサートのアンケート等で
「コンサート情報」を希望された方に配信しております。

■演奏会予約申し込み
次回予約申し込みはこちら
ホームページ：<http://www.ohkurayama-joycon.com/>
予約専用電話：080-8424-5108

■バックナンバー
メールマガジンのバックナンバー（PDFファイル）はこちら
ホームページ：<http://www.ohkurayama-joycon.com/>

■配信停止／アドレス変更
メールマガジンの登録、配信停止、アドレス変更はこちら
info@ohkurayama-joycon.com

発行：大倉山ジョイフルコンサート実行委員会
Eメール info@ohkurayama-joycon.com
携帯電話 080-8424-5108
URL <http://www.ohkurayama-joycon.com/>
